

営農ウィークリーNEWS

ジャンボタニシ被害を防ごう!



1980年代に食用目的で日本に導入されたスクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)は野生化し、基本的に柔らかい葉を好んで食べ、移植直後のイネで食害による欠株の被害が発生します。

被害状況の特徴ですが、田植え後20日までのイネが柔らかい時期に集中しており、水温が高くなるほどに活動が活発になり被害が増加します。また深水になる田面の低い箇所やマクラ周辺に被害が目立ち、大型になるほど食害量は大きくなります。



食害による欠株



ジャンボタニシの成貝



産み付けられた卵

田植え後の被害を防ぐポイント!!!



★食べさせない★

- ◆水深の管理がとても大切です!ジャンボタニシは水中でないと摂食できません。また、水深が浅いと活動が制限されるため水深4cm以下の浅水管理を行ってください。近年増加しているゲリラ豪雨などによる急激な増水には特に注意が必要です。(5葉期以降は食害されにくいいため、移植後3週間程度を目安に浅水管理を行ってください)
- ◆圃場内・水路にトラップを設置し貝を捕獲したり、濃いピンク色をした卵は水中に落とし、黒~白っぽい卵は木片などで押しつぶしてください。
- ◆一旦発生してしまうと、すべてを駆除することは非常に困難で、毎年被害が発生する可能性が高くなるので、農業による防除をおすすめします。

ジャンボタニシ防除おすすめ薬剤紹介!



『スクミノン粒剤』

■適用害虫と使用方法(2021年12月8日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む農薬の総使用回数
稲	スクミリンゴガイ	1~4kg /10a	収穫60日前まで	2回以内	散布又は無人航空機による散布	2回以内
れんこん		4kg/10a	収穫45日前まで			

※農薬の使用前には、必ずラベル等で登録内容の確認を行ってください。

TAC information



殺虫剤分類 28

ボトルに記載されたRACコード

RACコードは、製品ラベルや、チラシなどに表示されています。
※すべての農薬製品にRACコードが掲載されているわけではありません。

知っていますか?

「RACコード」



RACコードとは、世界的な農薬製造会社の国際団体が定めた農薬の分類コードの事で、同じ作用性の農薬グループを一つにまとめて、それぞれの農薬にコード番号を付けています。

殺虫剤は「IRAC」、殺菌剤は「FRAC」、除草剤は「HRAC」といいます。農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられています。RACコードを参考にして、同じ系統の農薬の連用を避けてください。

※RACコードは、農薬工業会のHP等でも確認することができます。

農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約30名の方が農作業中の熱中症により死亡
- 死亡事故の約85%が7～8月に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを選ける

高温時の作業は働き避け、日陰や風通しのよい場所での作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風扇の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に備えない様につくりをお楽しみ下さい!

農林水産省



熱中症対策

作業中に気をつけること

農作業中の熱中症対策 チェック



高温時の作業は避けましょう

一般的に70歳以上の方は、のどかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。



単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声かけあったり、異常がないか確認しましょう。



20分おきに

休憩 & 水分補給しましょう

涼しい日陰などの作業量を脱ぎ、体温を下げましょう。のどかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。



農作業中の死亡事故の約1割が、熱中症によるものです!
最近、急に熱くなってきましたので、熱中症には十分気をつけてください!